

こんにちは とみさと議会です

発行／富里市議会
編集／とみさと議会報編集特別委員会
発行日／平成22年8月1日
住所／〒286-0292
千葉県富里市七栄 652-1
TEL:0476-93-6492
FAX:0476-91-3595

第167号



すいかまつり



第27回富里スイカロードレース大会

6 平成22年
月 定例会

おもな
内容

- 6月定例会の議案と議決結果…………… 2
- 4月臨時会の議案と議決結果…………… 2
- 5月臨時会の議案と議決結果…………… 2
- みなさんからの請願・陳情…………… 3
- 一般質問…………… 3

子宮頸がん予防ワクチン接種費助成金、 ヒブワクチン接種費助成金 を含む補正予算ほか 12 議案を可決

子宮頸がん予防ワクチン接種・・・1人1回につき接種費用の2分の1（上限9,000円）
ヒブワクチン接種（細菌性髄膜炎）・・・1人1回につき3,000円

6月定例会の議案と議決結果

市長提出議案

議案第1号	富里市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	全会可決
議案第2号	富里市道路線の変更について（市道 1-0311 号線）	全会可決
議案第3号	富里市道路線の廃止について（市道 1-0312 号線）	全会可決
議案第4号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	全会可決
議案第5号	印旛郡市広域市町村圏事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び印旛郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	全会可決
議案第6号	千葉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	全会可決
議案第7号	平成 22 年度富里市一般会計補正予算（第 2 号）	全会可決
議案第8号	富里市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	多数可決
議案第9号	裁判上の和解について（学校給食費請求事件）	全会可決
議案第10号	裁判上の和解について（学校給食費請求事件）	全会可決
議案第11号	契約の締結について（富里小学校第二校舎耐震補強工事（建築工事））	全会可決

6月定例会は、6月1日から始まり、6月22日まで22日間の会期で開かれました。市長から議案二件が提出され、それぞれ原案どおり、可決しました。また、委員会提出議案として二件が提出され、それぞれ原案どおり可決しました。一般質問は、一三人の議員が行い、市の諸問題について見解を求めました。

委員会提出議案

第1号	専決処分事項の指定について	多数可決
第2号	立花廣介議員に対する問責決議について	全会可決

臨時議会が4月26日に開催されました。
市長から承認4件、議案1件が提出され、それぞれ原案どおり承認、可決されました。

4月臨時会の議案と議決結果

承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（富里市税条例の一部を改正する条例の制定について）	多数承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて（富里市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について）	多数承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて（富里市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について）	多数承認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて（富里市保育の実施に要する費用の徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定について）	全会承認
議案第1号	訴えの提起について（学校給食費請求事件）	多数可決

臨時議会が5月25日に開催されました。
市長から議案3件が提出され、それぞれ原案どおり可決されました。

5月臨時会の議案と議決結果

議案第1号	財産の取得について（環境施設用地）	全会可決
議案第2号	平成 22 年度富里市一般会計補正予算（第 1 号）	全会可決
議案第3号	裁判上の和解について（学校給食費請求事件）	多数可決



議員研修

空港対策特別委員会視察

期日：平成 22 年 4 月 26 日

視察地及び視察項目

富里市七栄 空港場外下水道について

期日：平成 22 年 5 月 27 日

視察地及び視察項目

成田国際空港 植物防疫所

”

航空機事故消火救難総合訓練

教育福祉常任委員会視察

期日：平成 22 年 5 月 26 日

視察地及び視察項目

- (1) 佐倉市立和田小学校 幼小連携について
- (2) 佐倉市立弥富小学校 自校給食について

みなさんからの請願・陳情

請願第 17 号

◆市道 01-009 号線 の速度規制等を求める請願
… 不採択

陳情第 15 号

◆浩養幼稚園存続に関する陳情

… 趣旨採択

陳情第 26 号

◆法人市民税率の軽減に関する陳情

… 採 択



一般質問

6 月定例会では、6 月 4 日、7 日、8 日の三日間にわたり一般質問が行われ、市政に対し活発な議論が行われました。詳細については、市立図書館にて会議録（8 月下旬発行予定）の閲覧、または、富里市議会ホームページ（8 月下旬掲載予定）をご覧ください。

※ 質問者は、質問の原稿を、本会事務局より提出してください。

一般質問通告項目

高橋益枝

- (1) 教育問題について
- (2) 福祉について
- (3) 男女共同参画について

中間幸一

- (1) 文化活動施設の充実について
- (2) 富里歴史資料館の建設について

窪田 優

- (1) 富里市の入札について
- (2) 富里市に不正経理はありませんか
- (3) 富里市の交通弱者対応対策

大川原きみ子

- (1) 健康福祉の推進について
- (2) 子どもの心身と人権・福祉を守る取組について
- (3) 人々の絆を強め、市民生活の向上を図るための地域福祉と芸術・文化の推進について
- (4) 子どもたちの健全育成と見守りについて

佐藤繁夫

- (1) 国保問題
- (2) 水道事業

鈴木英吉

- (1) 富里市のまちづくりについて
- (2) 富里市のごみ処理について
- (3) 富里市の農業の将来について

高橋保夫

- (1) 重点実施プランについて
- (2) 富里市緑の基本計画の取組について
- (3) 道路の整備計画について
- (4) 口蹄疫について

布川好夫

- (1) 地上デジタル放送移行について
- (2) 農業について
- (3) 安全と安心の暮らしについて
- (4) 地球温暖化対策について
- (5) 高齢者、生活弱者のための市営住宅の計画について
- (6) 教育問題

櫻井優好

- (1) 富里市第 3 次行政改革大綱並びに改革プランに関連したことに
- (2) について
- (2) コンプライアンス（法令遵守、内部規則、公務員倫理）について

秋本真利

- (1) 教育・福祉政策について
- (2) 各種政策・事業について
- (3) 基盤整備について

中野信二

- (1) 教育の諸問題について
- (2) 富里市の基幹管路耐震化率県内第 1 位について
- (3) 予防ワクチン接種に早期の公費助成を求める

立花廣介

- (1) 農業の低温被害について
- (2) 総合計画における位置づけと今後の展望について
- (3) 環境基本計画の継続と施策の充実を求める

柏崎のり子

- (1) 「地域主権」と地方自治体について
- (2) 介護福祉と国保について
- (3) 教育について
- (4) 環境施設建設の具体化について

※ 柏崎のり子議員の一般質問本文については、本人の都合により掲載しませんでした。

問 介護保険の償還払いについて

答 4月から受領委任払い制度を開始

高橋益枝

問 償還払いについては。

答 住宅改修・福祉用具購入で、利用者が全額を支払い、後で市に請求をして九割の支払いを受けるという償還払いが原則ですが、市ではこの4月から、受領委任払い制度を開始しました。利用者が初めから一割だけの支払いで利用できるもので、残りの九割分は、委任に基づいて市から事業者に直接支払いをします。

『いじめについて』

問 裏サイト、チェーンメール等によるいじめは。

答 平成21年度の調査では、小学校一七件、中学校一五件のいじめが把握されています。裏サイトは定期的にチェックしていますが、チェーンメール等による深刻ないじめは報告されていません。

『男女共同参画について』

問 これからの取組については。

答 現計画が平成24年までので、国の第三次男女共同参画



初めに一割負担で住宅改修

基本計画や千葉県の第二次計画を把握しながら検討します。

問 農家に対する取組については。

答 女性農業者の会やJ A女性部等と連携し、次世代の女性リーダーの育成や女性の労働軽減等の啓発を行い、女性に魅力ある農村社会作りを目指した活動を支援します。

問 文化活動施設の充実について

答 施設建設は市民ニーズや必要性を研究

中間幸一

問 文化活動施設（文化ホール）建設の検討について。

答 文化芸術活動は、人と人との心の糧として、市民一人一人が生きる喜びを感じながら、心豊かに生活していく上で大切なものであり、活動拠点の一つとして公民館をご利用いただいております。文化活動施設の建設については、今後、市民ニーズやその必要性について研究してまいりたいと考えております。

問 富里の歴史、文化財等の資料を管理、展示する資料館の建設は検討されていますか。

答 当市の貴重な文化財資料を保存活用し、良好な状態で後世に伝えるための施設として資料館の設置が望まれるところであり、その必要性については認識しているところでありますが、建設計画の検討には至っておりません。現在、日吉台小学校の余裕教室三部屋を利用した児童生徒向け展示と、市立図書館内の展示スペース



酒々井町の文化ホール施設

を利用した一般向け展示を行って活用を図っており、市民の方々からご寄贈いただいた民具資料などについては、文化財収蔵庫にて保管を行っているところです。今後、文化財資料の活用を図るため、文化財に触れる機会の充実に努めます。

問 交通弱者対応としてのさとバス効果

答 今後も可能な限り、ニーズ対応を検討

窪田 優

問 富里市が想定している「交通弱者」人数は把握していますか。

答 その面の調査はしていません。

問 この運行経費はいくらですか。

答 21年度の日平均利用者が三、五人。一人当たりの運行経費九九五円、運行収入一〇九円。年間約一千四百万円強の予算です。

問 島根県飯南町の谷地区で「自治会等輸送活動支援モデル事業」の記事をみました。町は車を自治会に貸出。必要経費は自治会が負担。利用は自治会員、料金は二百円。燃料費として会員券を購入して運転手に渡すそうです。ガソリン代の実費しか請求しない車両運行は「有償運送」に該当しないので登録の煩雑がない。こうした事例は他にもあると思います。研究したことはありますか。

答 川崎市を視察した例はあります。

問 川崎市の資料でも重要なことは「自治体職員が積極的



市内を走るさとバス

に地域に入り円滑なコミュニケーションを心がけた事で信頼を得ることができると記されています。具体的に計画を進めるロードマップが必要だと思いますがいかがですか。

答 市には幸いに熱心な方もいらっしゃるののでリーダーシップをとってもらい、市がついていく面もあると考えていきたい。

問 子宮頸がん・ヒブワクチン助成は

答 本議会に補正予算を上程しています

大川原きみ子

問 子宮頸がんはワクチン接種で予防できるがんです。公費助成について伺います。

答 本議会に、子宮頸がん予防ワクチン接種費助成について補正予算案を上程させていただきました。

問 乳幼児の細菌性髄膜炎の発症を予防するヒブワクチン接種公費助成について伺います。

答 本議会にヒブワクチン接種費助成について補正予算案を上程させていただきました。

『子どもの心身と人権について』

問 相談支援体制とネットワーク支援システム・緊急対応と地域見守り対策について。

答 関係各課及び児童相談所と定例ケース会議を毎月開催し情報の共有化を図っています。また、民生児童委員の研修参加等により、地域の見守り対策を図っています。なお、今年度市要保護児童対策地域協議会を設置する考えです。

『地域福祉について』

問 地域公共交通の充実について。答 今後とも継続的に検討していきます

ます。地域公共交通会議でも、さまざまな意見を吸い上げることが可能と認識しています。

問 コミュニティーカフェについて。

答 障害者の自立と就労支援につながるのでサポートしていきたい。



接種助成方法

●子宮頸がん予防ワクチン接種助成

- ・ 小学5年生～中学3年生
- ・ 3回接種で1人上限 9,000 円 × 3 回

●ヒブワクチン接種助成

- ・ 生後2カ月～5歳児
- ・ 1人1回につき 3,000 円

子宮頸がん予防ワクチン助成

問 安心・安全な水道とは

答 良質な水道水を安定して供給すること

佐藤繁夫

問 水道水の安心、安全には安価も入る。問題になっているハツ場ダムの水を買うようになったら水道料金はいくらくらいになるか。

答 水道水の安定供給をするために、水量の確保、施設の維持管理のため安定した経営が必要です。印旛広域水道からトン当たり

一八〇円で購入し、一九九円五〇銭で販売しているの、値下げは難しい。値上げをしないように努力しています。

ハツ場ダムの水を買うようになると暫定使用の井戸が使えなくなるので、水道料金はトン当たり三二〇円ぐらいになります。

問 地震に弱い石綿管対策はどうなっているのか。この問題は何度か質問してきたが。

答 石綿管は、導水管で二・二キロメートル、配水管で九・五キロメートルある



改修を終えた配水盤

り、更新が必要となっています。今は配水ピットの改修工事中です。で、現在策定中の更新計画の中でも優先度を考慮していきます。

なお、石綿管の更新には、一キロメートル約一億円を必要とすることから更新には一〇年ぐらいかかると思われます。

問 まちづくりについて市の企画はあるか

答 総合計画等により進めていきます

鈴木英吉

問 若い職員等が富里の将来について話し合える機会がありますか。

答 全庁で考えていかなければならない課題だと理解しています。

問 新清掃工場の進展状況は。

答 平成23年12月31日完成します。

問 クリーンセンター跡地対策は。

答 跡地利用に関しては、課題が多く残されているので今後の検討にあたり近隣住民や市全体のバランスを考慮して実施していきます。

問 リサイクルセンターと自主搬入はどのようになっていますか。

答 リサイクルセンターは、財政状況を勘案し計画を進めます。自主搬入については、集積場設置を進め、直接搬入の削減に努力します。

問 空き畑や後継者問題について。

答 高齢化や後継者不足等により少しずつ空き畑が見受けられます。

問 スイカは、市のブランドなので独自で調査はできないのか。

答 市としては、やっていません。

問 基幹産業が農業である市として、今後の取組は。



富里スイカは生き残れるか？

問 八街駅へさとバス乗り入れの検討を

答 実現できるように検討してまいりたい

高橋保夫

問 八街駅へさとバスの乗り入れを。

答 さとバスの八街駅への乗り入れについては早急に検討をしてやろうと思っております。

問 買い物や医療機関への交通の確保が心配です。対応策を示して。

答 さとバスは交通弱者の生活移動手段が目的だが必ずしも利用しやすい状況にない。可能な限り利便性の向上に向け検討します。

『道路計画について』

問 根本名から成田方面へ通じる道路市道一〇一〇〇二号線の拡幅は。

答 潮音寺から大和へ向けて予算を調整しながら進めてまいりたい。

問 県道一〇六号線より桜台団地を抜ける市道一〇一八八号線は。

答 消防機庫周辺の路肩排水整備も進んでいる。今後も調査します。

『生活弱者のための市営住宅は』

問 生活弱者のための市営住宅をどう考えるか。

答 財政的に非常に厳しく現時点で市営住宅の設置計画はありません。

問 近隣市町の状況はどうですか。



整備が進む 1-0188 号線付近

答 市営は成田で三〇五戸、佐倉市で二三六戸、家賃は一、四〇〇円から五、一〇〇円と幅があります。

問 職も住まいも追われた人のため何か考えてくれることはないのか。

答 生活保護受給者については、基準にのっとり実施しています。

問 地上デジタル放送移行の現状について

答 受信できないとの問い合せがあります

布川好夫

問 本市の難視地区への対策は。

答 市内全域がデジタルテレビ放送の受信可能エリアと公表されているものの、原因が自然の地形等による受信レベルの低下と考えられる場合は、総務省のテレビ受信者支援センターへ改善の要請をしています。

問 県内には現在七六地区が難視地区となっている現状で、市内での難視地区への対策は。

答 市内七地区約九〇〇世帯が難視地区となっています。当面衛星セーftimeネットを受信します。スカイツリー完成後、受信困難であれば、改めて送信対策、受信対策を実施いたします。衛星放送受信チューナー貸与、アンテナ工事は無償で行います。

『安全と安心の暮らしについて』

問 警察署及び交番設置について。

答 県内における警察署の新設計画はありません。新たな交番の設置も警察官の人員配置や施設整備に係る予算の確保等の問題で困難な状況です。



移動交番を富里市内にも

問 犯罪の抑制に移動交番の設置について。

答 県は9月補正で現在一五台から五〇台に増設する話も聞いていますので、市としても要望いたします。

問 歳入・歳出決算について

答 平成14年度と比較すると約一九億円の減

櫻井優好

問 富里市第三次行政改革大綱並びに改革プランに関連したことについて。

答 歳入・歳出決算、市税徴収率と地方交付税の推移等から見た財政基盤の確立など、市の今後の具体的ビジョンについてでございますが、歳入・歳出決算額といたしましては、市制施行した平成14年度に、扶助費などの増加から、普通会計ベースで約一三二億二千万円と過去最高となりましたが、その後、減少傾向となり、平成20年度と平成14年度を比較すると約一九億円の減額となっております。

約二千万円の増にとどまっております。歳入額の減要因といたしまして、地方債約一〇億二千万円、地方交付税約五億五千万円、基金等の繰入金約五億四千万円など、増要因としては、市税一億六千万円などとなっております。

歳出額の減要因といたしましては、普通建設事業費約二〇億円、経常以外の繰出金四億二千万円、物件費約二億九千万円、公債費約一億六千万円など、一方、増要因といたしましては、扶助費約六億円などとなっております。なお人件費については、



行政改革大綱・改革プラン

問 子宮頸がん予防ワクチンに全額助成を

答 考える必要があると思っています

秋本真利

問 8月から一部助成が始まりますが、更に全額助成にできませんか。
答 更なる助成については考える必要がある。国に引き続き要望する。
問 成人女性への予防効果と助成は、約六〇％の効果。啓蒙活動する。
問 浩養小学校に学童クラブ設置を。
答 しっかりと協議してまいりたい。

『各種政策・事業について』

問 富里の法人税は他市と比べ非常に高い上に、大企業から零細まで一律課税となっています。せめて、累進として零細企業の負担軽減を。
答 何かしらの形で応えたいと思う。
問 市が仕事を創出するなど、新卒未就職者に何かしらの形で支援を。
答 検討するが時間をいただきたい。
問 原付ナンパーは市独自の意匠で発行できることを知っていますか。市民からデザインを募集するなど目玉事業として取り組みませんか。
答 初めて知りましたが、ぜひ検討したいと思います。
問 共同利用施設の内装の修繕を。
答 緊急性の高い箇所から検討する。
問 市の会議は可能な限り傍聴可に。



将棋の駒など様々なナンバー

問 一貫教育導入を検討する時期では

答 全国的な流れを注視していきたい

中野信二

『小中一貫教育の導入促進』

問 公立の小中一貫教育をどのように評価しているか。

答 文部科学省から研究開発学校の指定を受け、特例の形で小中一貫教育を進めている場合が多く、その成果等については研究途中であると認識しています。メリットはありますが、クリアすべき課題も多くあります。

問 全国をみると、県全体、市全体で導入を進めているケースもあり、当市も一貫教育導入を検討すべき時期に来ているのではないか。

答 全国的にその傾向があることは承知している。全国の流れを見ながら、市として考えていくことがあれば、考えていきます。

問 日吉台での一貫教育導入に向け小中連携深化の可能性はあるか。

答 平成20・21年度に文科省指定の「道徳教育実践研究事業」で日吉台小と北中が道徳や特別活動を通して交流し、種々の成果がありました。現行の教育課程の中で可能な交流を図りたいと考えています。



実現が待たれる小中一貫教育

問 日吉台地区では道徳以外の教科でも連携強化を進めていくか。

答 大事なことは校長同士が十分なコミュニケーションをとり、その中で可能な教科、例えば英語など連携できる教科は進めていきます。

問 農業の低温被害と対策は

答 スイカに特化した施策検討する

立花廣介

問 今年の低温被害は深刻なダメージで、特にスイカは、今後作付けが激減しないか心配です。市の認識と対策はどうか。

答 スイカをはじめ果樹に至るまで障害が生じています。特にスイカは、植付けから交配時期の低温障害です。調査中ですが、ハウス栽培、大型トンネルでは、四〇～五〇%の減収と言われています。

対策については、スイカの産地を守り発展させる観点から、スイカに特化した施策を今後検討してまいりたいと思います。

『新総合計画に憲法理念を』
問 日本国憲法に準じた、平和主義と人権、住民自治、その三点を基本理念として掲げるべきです。

富里市は「非核平和都市宣言」も、市民憲章で世界平和を目指す、ともうたわれています。

答 言われることは当然で、それがなければ総合計画も成り立たないと思います。ただ、理念にうたつても、平和の予算も少ない。今、私としても恥ずかしい。



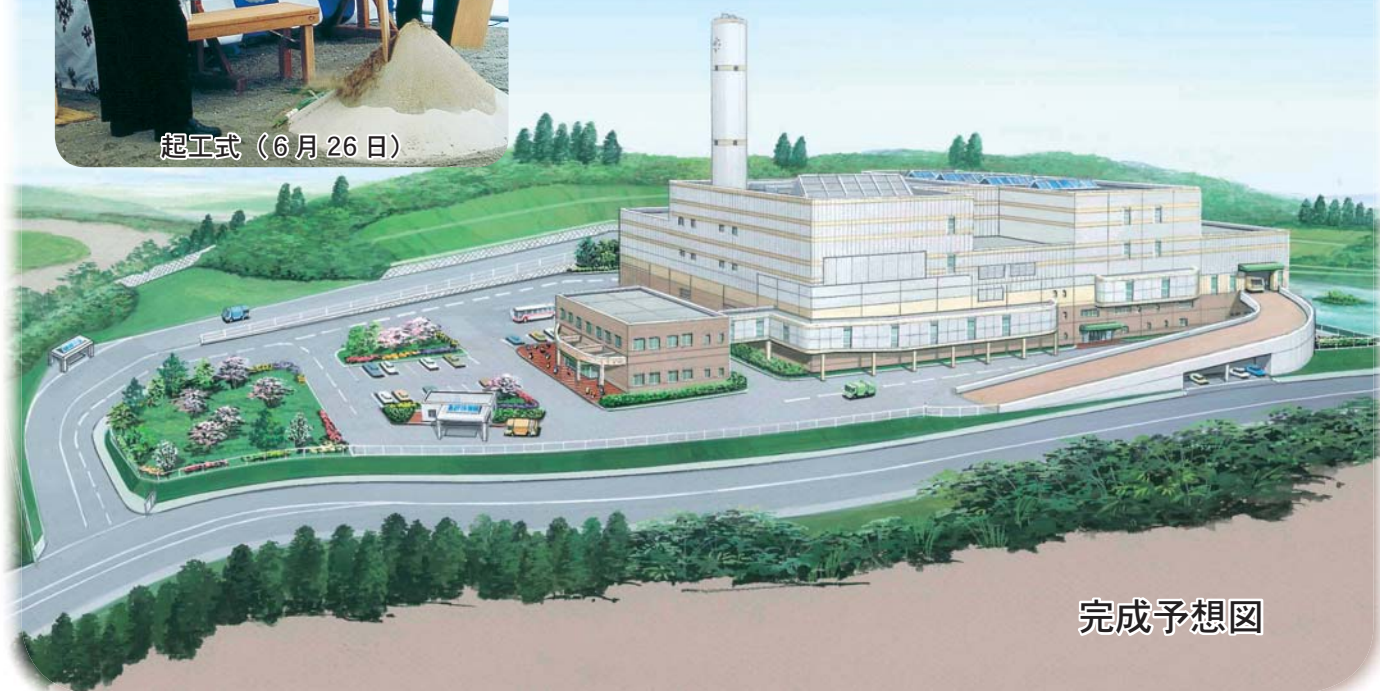
困難を乗り越えすいかまつり

申し訳ない。そういう予算でしかないわけです。

立花議員が言われたことは、みんな聞いていますので、どのようにあらわすか、それは忘れないのでよろしくお願いいたします。



起工式（6月26日）



完成予想図

（仮称）成田市・富里市新清掃工場

議会を傍聴しませんか

9月定例会は

8月27日（金）から開会予定です。

※詳しい日程などは議会事務局にお問い合わせください。
※本会議の様子は市民課ロビー（市庁舎一階）のテレビでも
ご覧いただくことができます。

ご意見・ご感想をお寄せください！

議会報を読んで感じたことなど
皆様のご意見をお待ちしております。
また、議会報は市議会ホームページでも
ご覧いただくことができます。

〒286-0292 富里市七栄 652-1 議会事務局
TEL. 0476-93-6492 FAX. 0476-91-3595

富里市議会ホームページアドレス

<http://www.city.tomisato.chiba.jp/gikai/index.html>

編集後記

4年に一度の全世界が注目した、ワールドカップ南アフリカ大会が6月11日から7月11日まで開催された。

日本は、岡田武史監督のもと、南アフリカの地で2勝を挙げ、1次リーグを突破した。決勝トーナメント1回戦パラグアイに0対0のまま、PK戦で3対5で敗れましたが、PK戦とはあくまで次のラウンド進出を決めるための便宜的な措置で、実質は引き分けで日本は負けて大会を去ったわけではなく、世界に日本のサッカーを見せられた大会だったと思います。

期待度は、ワールドカップ代表の中で最も低かった岡田ジャパンでしたが、ここまで活躍できたのは、強いリーダーシップと選手全員の団結力にほかならないと思います。岡田監督は「我々は一人一人の力は小さいかもしれないが、1たす1を3にするようなチーム」だと言われました。

議会報編集に当たり、多くの市民の皆さんに愛読していただけますように、委員長のもとと団結してまいりますので何とぞよろしくお願い申し上げます。

（布川好夫 記）

とみさと議会報編集特別委員会

委員長／高橋益枝 副委員長／高橋保夫 委員／塩田和夫、中間幸一、立花廣介、布川好夫、窪田 優

次回（平成22年9月定例会）は11月1日発行予定です。

再生紙を使用しています